

市政記者各位

令和2年度

「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」の 実績報告

完売!

福岡市では、博多湾のアマモなどの藻場による二酸化炭素の吸収・固定を通じて温室効果ガスの削減を目指す「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」を令和2年10月に創設しています。

この度、令和2年10月1日～令和3年1月31日に販売したクレジットについて、カーボン・オフセット認証を行いましたのでお知らせいたします。

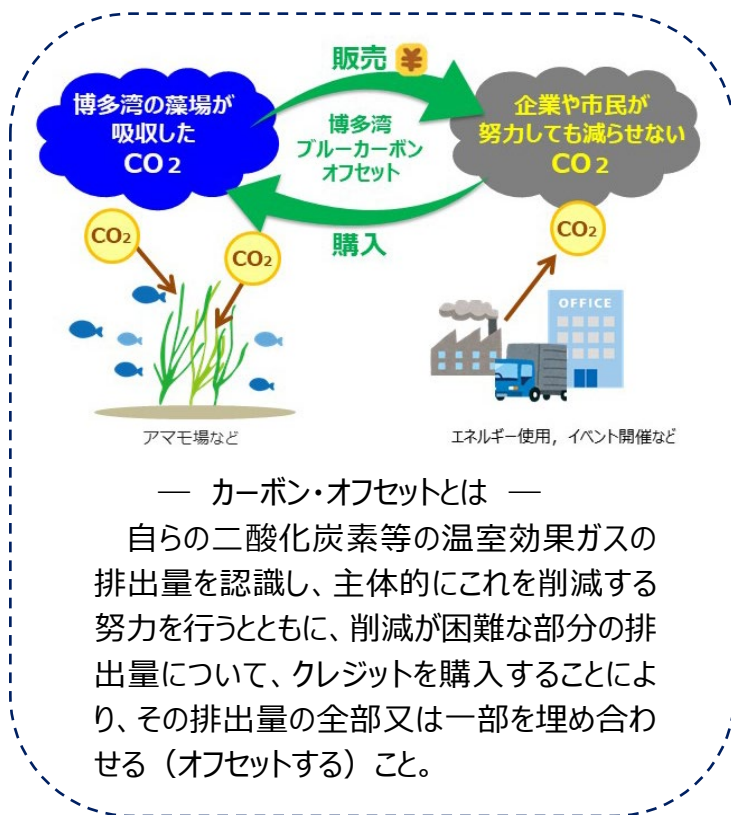
【販売クレジット数量】

43.4 t-CO₂ **完売**

販売収益（347,200円、税抜き）は「博多湾 NEXT 会議」でのアマモ場づくり活動をはじめ、博多湾の環境保全創造の取組みに活用しています。

【カーボン・オフセット認証実績】

	件数	数量 (t-CO ₂)
団体	14	37.1
個人	21	6.3
合計	35	43.4



◆令和2年度のクレジットは、以下のような活動で排出されるCO₂排出量のオフセットに活用されています。

- ・ オフィスのエネルギー使用
- ・ ガソリン使用
- ・ 海域調査における船舶・車両使用 など



2015年の国連総会で採択された持続可能な世界を実現させるための2030年までの国際目標です。本制度は、SDGsを支援しています。

<問い合わせ先>

港湾空港局港湾計画部 みなと環境政策課

担当：くはら 久原、大倉

電話：092-282-7153

【ブルーカーボンとは】

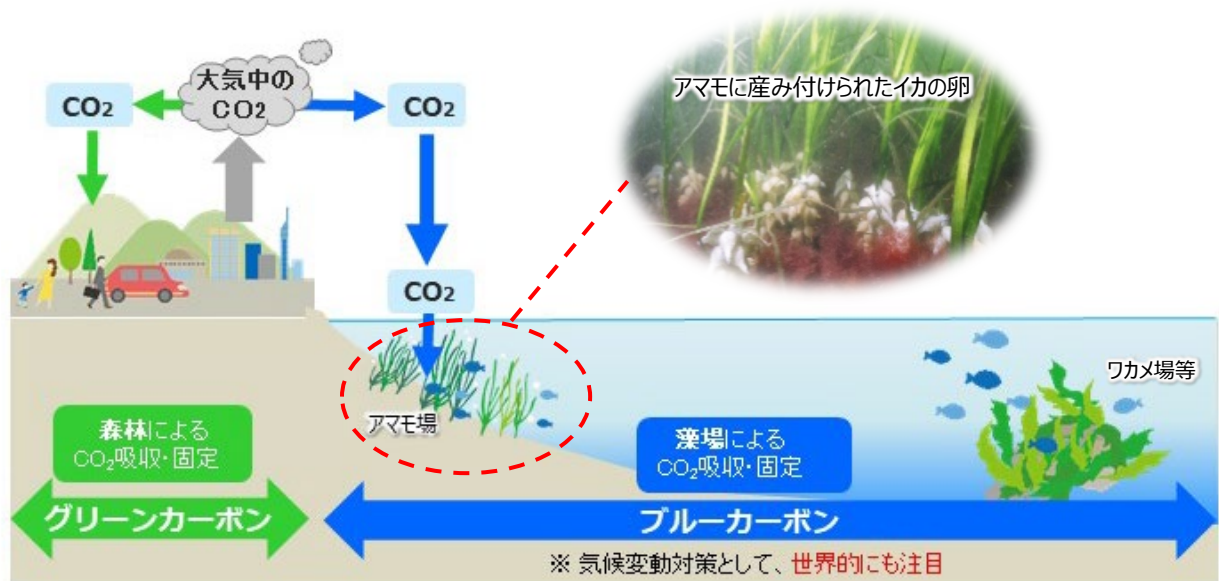
森林が吸収・固定する二酸化炭素を「グリーンカーボン」といいます。

一方、アマモなどの藻場（海洋生態系）が吸収・固定する二酸化炭素を「ブルーカーボン」と呼び、その一部は分解されずに海底や海中に長期間貯蓄されるため、新たな気候変動対策として世界で注目されています。

【アマモなど藻場の役割】

アマモは、地下茎や種子で増える海の中の植物「海草」です。

アマモ場は、“海のゆりかご”とも呼ばれ、魚のすみかや産卵場所となっています。



【二酸化炭素吸収・固定量（ブルーカーボン）について】

IPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）のガイドラインや「浅海生態系における年間二酸化炭素吸収量の全国推計」（桑江朝比呂、吉田吾郎、堀正和、渡辺謙太、棚谷灯子、岡田知也、梅澤有、佐々木淳）の考え方を基本として、実測や博多湾の海域に適した文献値からアマモ場、ワカメ場等の係数を調査の上で決定しました。

【博多湾 NEXT 会議とは】

福岡市では、豊かな自然に恵まれた博多湾や博多港が、将来にわたって持続的に発展していくよう「港湾活動」と「環境の質の向上」の好循環の仕組みを推進しています。

平成 30 年 5月に設立した博多湾 N E X T 会議は、市民、市民団体、漁業関係者、企業、教育、行政など多様な主体が連携し、豊かな博多湾の環境を未来の世代に引き継いでいくことを目的にした組織で、アマモ場づくりを中心とした博多湾の環境保全創造の取り組みや、博多湾の魅力発信などに取り組んでいます。



環境シンボルキャラクター
「エコッパ」

チャレンジ！
脱炭素社会

令和2年度
博多湾ブルーカーボン・クレジット購入団体一覧

	団体名
1	一般社団法人 ふくおかFUN
2	マリゾン・博多湾環境整備共同事業体
3	一般財団法人 九州環境管理協会
4	エコワークス株式会社
5	大阪シーリング印刷株式会社 九州支店
6	九州電力株式会社
7	東洋建設株式会社 九州支店
8	東亜建設工業株式会社 九州支店
9	株式会社九電工
10	西日本技術開発株式会社
11	株式会社安藤・間 九州支店
12	株式会社ピエトロ
13	株式会社福岡北斗システム
14	株式会社オガワエコノス